

地域の価値向上のためのゲートウェイ空間整備手法に関する調査

1. 課題

港湾空港と背後地域の連携不足

表層的、画一的な景観整備

国土・地域の顔にふさわしくない景観整備

2. 目的

地域の価値向上による地域の活性化

港湾・空港を中心とする地域の魅力ある顔づくり

3. 研究内容

地域の価値の分析手法の体系化

ゲートウェイ空間における
・景観構造分析
・価値構造分析

モデルの構築

地域の価値形成のメカニズムの分析
及び工学的に操作可能なモデル構築

整備手法の開発

ゲートウェイ空間における
・空間整備手法
・空間コントロール手法の構築

4. アウトプット

景観分析・価値分析手法の体系化

ゲートウェイ空間における空間整備手法の提言

ゲートウェイ空間における空間コントロール手法の提言

5. アウトカム

美しい国土の形成

港湾・空港を核とする国土・地域の顔づくり

地域活性化

地域の価値の向上

観光客の増加
企業立地の増加

研究内容

景観(視知覚)構造の分析

ゲートウェイ空間における景観(視知覚)構造分析

- ゲートウェイ空間における空間体験分析
- ゲートウェイを視点場・視対象とした場合の評価・分析、整備方法の検討

価値構造の分析

ゲートウェイ空間における価値構造(ゲートウェイと周辺地域の関係性)分析

- 集団表象分析(絵画、写真、文学作品、物語・伝承、校歌、名所図絵、ガイドブック、旅行記、歌等分析)
- 空間構造分析(地形、歴史、文化、施設配置、利用形態)
- 認知構造分析(認知マップ、アンケート等心理学的分析)

モデルの構築

地域の価値(イメージ、アイデンティティ)の形成(変遷)メカニズム(イメージ、アイデンティティ形成と空間構成等の関係性)把握及び工学的に操作可能な地域の価値向上モデルの構築

手法の開発

地域の価値を向上させるためのゲートウェイ空間における空間整備手法、空間コントロール手法の開発

地域の価値

